



まちの将来を考える - 市町村合併 - 「夢・未来を語ろう まちづくりトーク」から

8月27日公民館大ホールで、町の将来を考える - 市町村合併 - をテーマに「夢・未来を語ろうまちづくりトーク」が開催されました。

昼部・夜部の2回開催で45名の町民の方が参加されました。その中で出たご意見、市町村合併をどう思うかのアンケート調査のご意見についてお知らせします。

アンケートから

- 簡単に答えが出る問題ではない。色々なパターンを十分に検討し、町民みんなで意見を交わし、どういう町にしたいのかを検討した上で結論を導くべきではないか。合併だけが解決策ではなく、ツールの一つである。どういう町にしたいかという議論を交わした上で様々なツールを使い分けるべき。町民もそういう観点で意見を述べるべき。行政側はグループによる議論の場を設定すべきである。
- 合併することが必ずしもまちづくりにはつながらない。先人の築いた歴史文化を守る責任があり、財政面だけでは解決できない。
- 合併後の町のあり方が見えてこない。感情論で話し合いをしても無駄。抜本的な考え方の変化を、住民、行政、議会が持たねば、感情先行論でおわると思う。具体的なシミュレーションを様々な角度から行うべき。「住民が考え、話し合い、決定する」と言うが、理事者の逃げである。もっと情報を持っている人間が、公平に正確な情報提供をすべきであった。
- 合併したら、上富良野という名前はなくなるのですか？なくしたくないです。町の将来のことを考えるのなら、もっと若い世代に関心を持ってもらえるような取り組みにしてほしい。
- 富良野方面5市町村の合併では良くならないと思う。
- 旭川市との合併、美瑛・東神楽・東川・当麻などとの組み合わせを考えて合併すべき。
- 人口を考え、国の施策に従わなければ、住民が苦しみを味わうと思う。

アンケート結果 参加人数45人 回答率73.3%

	賛成	反対	わからない	無記入	計
昼部	6人	2人	5人	1人	14人
夜部	2人	1人	14人	2人	19人
計	8人	3人	19人	3人	33人
率	24.3%	9.1%	57.6%	9.1%	

トークから

町及び議会は合併についてどのように考えているのか？

- 私は、他の政策であれば、町主導でもいいと思っているが、合併については、全く（町の）方向を変えるということであり、町や議会が先に方向を示すものではないと思っている。最終的には議会に諮ることだが、現時点では町の皆さんの意見を多く聴く時期と考えている。

合併するメリットとデメリットを分かりやすく知らせてほしい。

- 住民から見れば、大きな判断材料であると考えられるが、具体的なことは私達もまだハッキリとは言えない状況。メリットで言えば、財政的な面ではないか。

町の判断時期はいつか？

- 合併特例法の期限は、平成17年3月であり、合併協議会を設置して新しい自治体の姿を協議し、決定するまでに一般的に22ヶ月ほどかかるといわれている。したがって、今年度中には、協議会設置の判断をする必要がある。

自分の考えを言えと言うが、合併したらどうだとか、何も分からないのに、町民が何をしゃべれるだろうか？何もしゃべることができない。

- 一応の概略をお知らせした。自立なのか、合併なのか行政サイド

でも大変難しい問題。先がつかめない状況の中で、今のトークを迎えている。感覚的な判断となってしまいが、できるだけお話を頂きたい。

どうしても沿線5市町村の合併でないとダメか？とりえず、期限までに中富良野町と合併し、様子を見ると言うこともできるのではないか。

- どこと合併しなければならないということはない。組み合わせにより、国の支援額が変わるだけであるが、相手のいることでもあるので、今、どことどことは言えない。

もし合併したら、名称はどうなるのか？役場はどこになるのか？住民サービスの变化など具体的な生活のレベルにあわせて示してほしい。

- 合併した場合、新しい自治体の名称は、合併協議会で協議し決定される。吸収合併の場合は、大きい自治体の名称を使うことが一般的である。公共施設などは、同じ条件で使用できるようになるだろうし、役場などは、旧自治体の庁舎が支所として残ることが一般的である。

市町村合併についてのお問い合わせは、
企画調整課 ☎6980